

輸送動向について(平成17年度上半期分)

平成17年10月

1. 輸送概況

上半期は、4月の福岡県西方沖地震に始まり、7月に千葉県北西部地震、更に8月の宮城県沖地震と3回におよぶ地震が発生した。また、7月以降は各地で局地的大雨に見舞われたほか、3度にわたる台風の上陸等もあり、上期全体では高速貨624本、専貨36本が運休した。

荷動きについては、災害の影響もあり、やや弱含みで推移し、輸送量全体では99.6%と前年を下回った。

コンテナ貨物では、民間流通米が好調であった農産品や自動車部品が前年を大きく上回り、対前年100.2%となったものの、天候不順の影響を受けた生野菜青果物のほか、災害時の前後において、鉄道利用を以前より見合わせる状況が増えてきた積合せ貨物が大きく前年を下回った。

車扱貨物では、春先の低温の影響により石油が好調であったものの、一部区間で輸送が終了したセメントや顧客の工場で長期修繕があった化学工業品等が前年を下回り、車扱全体では、対前年98.7%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	上期計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	10,914	10,893	100.2%
車扱	6,534	6,620	98.7%
計	17,448	17,514	99.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	525	452	73	116.2%
	生野菜青果物	353	384	-31	91.9%
	化学工業品	1,067	1,101	-34	96.9%
	化学薬品	850	818	32	103.9%
	食料工業品	1,751	1,760	-9	99.5%
	紙パルプ等	1,757	1,741	16	100.9%
	他工業品	774	740	34	104.6%
	積合せ貨物等	1,230	1,291	-61	95.3%
	自動車部品	298	247	51	120.6%
	エコ関連物資	197	239	-42	82.4%
	その他	2,112	2,120	-8	99.6%
コンテナ計	10,914	10,893	21	100.2%	
車扱	石油	4,017	3,980	37	100.9%
	セメント	584	647	-63	90.3%
	石灰石	329	330	-1	99.9%
	車両	696	688	8	101.1%
	紙パルプ	260	256	4	101.7%
	化学工業品	242	298	-56	81.2%
	その他	405	422	-17	96.0%
車扱計	6,534	6,620	-86	98.7%	
合計	17,448	17,514	-65	99.6%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)